

2004年度

第3回 愛知大学

同窓会奨励賞授与式



平成一七年三月五日(土)

於 愛知大学 豊橋校舎

記念会館 三階小講堂

開式

愛知大学同窓会長挨拶

同窓会奨励賞

選考結果の報告

愛知大学長激励の辞

同窓会奨励賞

授賞者代表謝辞

閉式

激励パーティ(追遙館)

主催 愛知大学 同窓会

最優秀奨励賞

松山 昭治 氏

書院 45 期・昭和 25 年旧制法経学部卒業

「中日大辞典」編纂に大きな貢献



◇略 歴◇

1944年 東亜同文書院大学入学

1950年 旧制法経学部経済科卒業

中部日本放送記者、報道局局長職を経て1987年論説委員長で定年
著書「パンダの遺言状」、「これが現代中国人」他

◆推薦要旨◆ 愛知大学中日大辞典の編纂に対し、自発的に十数年間に亘り、一万数千枚の語彙カードを送り続けられた。語彙カードは、分量・内容ともに充実したもので編纂所でも高く評価され、新版の原稿として多数採用されるなど中日大辞典編纂に大いに貢献をされました。

原田 弘子 氏

昭和 43 年短大生活科卒業

伝統工芸藍染絞りの技法を世界に紹介



◇略 歴◇

1987年より「国展」に出品

1989年～ 豊橋美術博物館で開いた個展を封切に2003年までに
18回の個展を開催

◆推薦要旨◆ 天然の藍を素材に、絞り染めの伝統技法を守る国内で数少ない作家として活躍。国内外で個展、ワークショップ等を開催するなど日本の伝統工芸の藍染絞りの美しさと高い技術を世界に紹介されました。

伊東 剛 氏

経済学部 4 年生

最優秀選手賞とベストナインを受賞



◇略 歴◇

2001年 愛知県立大府高等学校卒業

2001年 愛知大学経済学部入学

愛知大学硬式野球部入部 投手

◆推薦要旨◆ 愛知大学硬式野球部投手として、昨年は春季リーグ戦において大学野球選手権大会の36年ぶりの出場と昨年の秋季リーグ戦において明治神宮野球大会初出場に多大な貢献をされました。

優秀奨励賞

林 徳太郎 氏

昭 25 年旧制法経学部法政科卒業

中国クフチ沙漠緑化活動に大きく貢献



◇略 歴◇

1957年 愛知大学 法経学部 卒業

1992年 愛知大学定年退職

1994年～緑の協力隊隊員参加

◆推薦要旨◆ 愛知大学「緑の協力隊」中国沙漠植林ボランティアとして、1995年7月第1次隊に参加し、以降、延べ9回にわたり参加され国際ボランティア活動への貢献とその実績は大いに評価されました。

忠 地 大 哉 氏

愛知大学経済学部4年次生

愛知大学應援團第53代團長として、後輩の育成に貢献



◇略 歴◇

2000年 愛知大學應援團入團

2004年 愛知大學應援團第53代團長就任

2005年 愛知大學應援團卒團

◆推薦要旨◆ 東海地区で唯一53年の歴史と伝統を誇る愛知大學應援團53代團長として、應援團の古き良き伝統の継承に努められ、クラブ活動の存続をかけて頑張ってくられ、その責任感は大いに素晴らしいものでありました。

奨 励 賞

平 塚 恵 理 佳 氏

愛知大学法学部4年次生

エコビジネス推進研究会代表として大いに活躍



◇略 歴◇

2001年 名古屋市立桜台高等学校卒業

2001年 愛知大学法学部入学

2004年 エコビジネス推進研究会開設

◆推薦要旨◆ エコビジネス推進研究会代表として、環境問題に対する取り組む真摯な姿勢はリーダーに相応しい信頼関係を築かれました。昨年、研究活動の一つとして開催した名古屋地域エコネットシンポジウムにおいて学生を代表して問題提起などを行い、その評価は高いものでありました。

北川 愛子氏

現代中国学部3年次生

地域のボランティア活動に貢献



◇略歴◇

2002年 愛知県立豊田北高等学校卒業

2002年 愛知大学現代中国学部入学

◆推薦要旨◆ 優れた語学力を生かし、地域におけるボランティア活動に積極的に参加され国際的な交流に貢献されました。

桐原 千文氏

昭和53年文学部卒業

郷土史の研究を通し地域文化に貢献



◇略歴◇

1978年 愛知大学文学部史学科日本史専攻卒業

1983年 名古屋市蓬左文庫学芸員、名古屋市博物館学芸員を経て現在に至る

◆推薦要旨◆ 学芸員という専門的な知識や経験を通して、郷土史の研究に励み、その研究成果をまとめる数々の共著として発表されました。このことは郷土史研究への向上に大いなる貢献を果たされた。

藤田佳久教授ゼミナール

フィールドワークを中心とした研究活動



ゼミ長
高木 秀和

◆推薦要旨◆ フィールドワークを主体とした地域における地道な研究活動を継続して行っており、これらの成果をゼミ論集という形で毎年発行されるなど、研究実績として多大な成果を上げられています。



愛知大学奨励賞授与取扱要領

目的

本取扱要領は、本会会員（滬友会、推薦交友を含む。）並びに愛知大学関係者（教職員、在学生等）が社会・文化・芸術・学術・スポーツ等の分野に於いて活躍し、本会又は大学の荣誉を高め、かつその分野の発展に寄与した個人又は団体に対し、その労をねぎらうため、愛知大学同窓会（以下「同窓会」という）が「同窓会奨励賞」を授与するために定める。

選考

会員から推薦のあった個人及び団体について、同窓会広報委員会を選考し、同窓会常任理事会で決定する。

表彰

表彰は、会員から推薦のあった個人及び団体に対し、選考の結果、個人にあっては表彰状並びに副賞（記念品）、団体にあっては表彰状並びに副賞（奨励金）を授与する。

推薦

候補者の推薦（自薦を含む）は、毎年12月20日までに社会・文化・芸術・学術・スポーツ等の分野で活躍のあった個人又は団体について、活躍の内容をまとめた推薦書（800字程度）を同窓会会長宛に提出する。但し、叙勲及び功労賞等の受賞者は対象から除くものとする。

表彰の種類

表彰の種類は、個人、団体とも次のとおりとする。

A 最優秀奨励賞（全国レベルでの活躍）	個人…記念品	団体…奨励金10万円
B 優秀奨励賞（地域レベルでの活躍）	個人…記念品	団体…奨励金5万円
C 奨励賞（一般的な活躍）	個人…記念品	団体…奨励金3万円